

「脳神経外科」後期研修カリキュラム

- 1 研修医の資格について
2年間の卒後初期臨床研修を修了した者とする。
- 2 研修内容について
 - 1) 医の倫理を体得し、高度の外科専門知識と技術を修得する。
 - 2) 外科専門医の受験資格を十分に満足する内容にする。心臓血管の不足分は徳島大学病院あるいはその関連病院と連携をもって症例を経験する。
- 3 研修期間について
卒後初期研修を終了後の4年間とする。

. 一般目標

- 1) 代表的な脳神経疾患について、人命を尊重し、質の高い総合的な診断能力を身につける。
- 2) 脳神経疾患の診療における知識と技術を習得する。
- 3) 脳卒中専門医、脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医などの資格を取得する。

. 到達目標

- 1) 代表的な脳神経疾患について、自ら検査計画を立て、正しく診断できる。
- 2) 代表的な脳神経疾患について、自ら治療計画を立て、的確に実施できる。
- 3) 中枢神経系の腫瘍、血管障害、外傷、変性疾患、先天異常、感染症等についての診療技術と知識を学ぶ。
- 4) 専門医受験に必要な症例を経験する。
- 5) 学会発表あるいは論文発表、治験等の臨床研究活動ができる。

. 研修コースの概要

1) 経験目標症例数	脳梗塞	100例
(4年間)	脳出血	30例
	くも膜下出血	50例
	脳腫瘍	50例
	頭部外傷	30例
	感染症	10例

2) 手術に関する到達目標

- 1年目 開頭、閉頭の基本操作ができる。

脳室ドレナージ、髄液短絡術（シャント）ができる。

2年目 頭部外傷（急性硬膜外血腫、硬膜下血腫）の処置ができる。

3年目 脳内出血、頸部頸動脈病変の手術ができる。

4年目 脳動脈瘤、良性脳腫瘍、脊髄疾患の手術ができる。